

Aikou

2024年 11月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

「受け入れる力」

チャプレン 山田 和人

思うようにならないことを受け入れるということは、誰にとってもチャレンジを要することです。13名の子どもたちが躍動した運動会は、とても楽しく、有意義に感じました。私は、借り物競走の「借り物」役だったのですが、実を言うと誰も連れて行ってくれませんでした。「やまちゃん」というカードに戸惑ったお友達が、別の物を持っていったのかもしれませんが。そうすると、組み合わせに狂いが生じ、最後にカードを引いた子は、マッチするものがなく、私も浮いてしまいました。

運命のいたずらには逆らえず、3人はそれぞれにゴールインしましたが、合点がいかないことをどう受け止めれば良いか。残念、悔しい。何よりも自分のせいじゃないので、それぞれの気持ちは揺れました。それでも、そこから立ち直っていき、次の準備に気持ちを切り替えていく2人の表情を私は見守っていました。

予期せぬアクシデントがあり、そこから気持ちを切り替えていくには心のエネルギーをたくさん使います。他の競技でも似たような光景が見られましたが、体と心のエネルギーを存分に使ったからこそ、体育館一杯に「元気」が満ち溢れているように感じたのだと思います。

「それぞれのドラマ」

園長 富樫 立子

今年の運動会も皆様のご協力により、無事に終えることができました。改めてお礼申し上げます。

運動会当日までにそれぞれが課題を持ち準備をしてきました。「あきらめないで最後まで走る」など特にゆり組は自分の頑張りたいポイントを決めて取り組んでいたようです。また、リレーへの思いはとても強いものがありました。「ただ走るだけではなく心が大切」「周りを見る目も大事」「自分が走り終わったら終わりではない」など先生方からのアドバイスをよく聞き、次の時にはちゃんとアドバイスを意識して走るのです。みるみるチームで走るリレーが築かれていきました。毎回点数をつけていたのですが、子どもたちは100点をとりたくて声を掛け合い、応援し合い、負けても次へと繋げていく姿が毎回200点をあげたいほどでした。時には悔しくて涙が流れました。それを乗り越えての当日の姿です。一生懸命な姿は伝わったでしょうか。

課題を乗り越える経験は子ども大きくします。ゆり組だけではなく皆が大きくなっています。この力をくださった神様は偉大です。

くらす すけっち



すみれ組

運動会では、大好きなママがいるとべったりの2人でしたね。かわいいダンスがお見せ出来なかったのは残念でしたが、ママと一緒に嬉しそう良かったです。

さて、お天気の良い日は、園庭で遊ぶか、お散歩に出かけて秋を体いっぱい感じていた2人です。秋風がそよそよ吹くと「**かぜのおとがきこえる**」と素敵な言葉が聞かれました♪歩く途中に金木犀を見つけてクンクン嗅いで甘い香りも感じました。公園では、落ち葉の上を3人で行ったり来たりして、カサカサいう音を楽しんで遊びました。いつの間にか3人が1列になり夢中になって行き来しているのが面白かったです。落ち葉のシャワーを振りかけると「**きゃ〜♪**」と声を上げて喜ぶ姿はとても可愛かったです。自分達でも（高くは投げられません）落ち葉シャワーを楽しんでいました。また、綺麗な落ち葉や、松ぼっくりのお土産を毎回大事に持ち帰って嬉しそうな2人です。

宮崎 詩世

たんぼぼ組

お家の方にも手伝っていただき運動会での「なかよしベーカリー」出張販売は大成功でした♪遊びの様子そのままに子どもたちらしい可愛らしさや、やり取りの姿もお見せすることができたのではないかと思います。

運動会の翌週には「いもほり遠足」にでかけた子どもたち。ゆり組さんに劣らないパワーでたくさん秋の味覚を取獲する体験ができました。毎年恒例の「お芋クッキング」はしばらく先ですが、先日はパン屋さんの流れですみれ組と「特別パンケーキ」のおやつ作りも楽しみましたよ♡スーパーへの買い物だってお任せあれ！といった様子でウキウキと出発。プレートに一口サイズに垂らす作業も慎重かつ丁寧な手つきでテキパキと完成！お腹の中に入るのも一瞬でした☆ようやく秋らしくなってきましたね。まず「食欲の秋」を満喫した子どもたちでした。

北村 愛実



ゆり組

運動会、おもほり、里山あそびなど盛りだくさんの10月でした。運動会のリレーの裏話として…子どもたちに差が出ないように、工夫してグループ分けをしました。子どもたちなりに走る順番も考えて、当日の流れになりました。やはり、いろいろな競技がある中で子どもたちのリレーに対する思いは熱かったように思います。泉中学校の運動会に出掛け、中学生のリレーを見たことも子どもたちの中には感じるものがあったようで…「**ころんでもすく、はしるのかっこいいね**」「**みんなで、ちからあわせてたね**」と話していた子どもたち。その後のリレーの練習は少なからず影響を受けていたようでした。運動会でゴールした後の表情も良かったですが、りつこ先生からリレーの点数を聞いた時の子どもたちの表情を見ると、勝ち負けではないものを子どもたちは得ることが出来たかな〜と嬉しく思いました。

運動会後の子どもたち様子は…大きな行事を超えられたこともあってか、みんなで体を動かして遊ぶことが増えました。今はテレビの影響もありますが、『逃走中（ハンターごっこ）』を楽しんでいます。ルールを自分たちで考え、みんなが納得し遊べるという姿はお泊り保育、運動会と大きな行事を経験した子どもたちの成長でしょうね。これからもゆっくりと見守っていこうと思います。

氣谷 彩子

あそびの中から

清泉公園へ行ってきた時のこと。

「わぁ〜ここに、どんぐりあるよ〜」の保育者の声にみんなでどんぐり拾いが始まりました。「先生！大きい袋ちょうだい」と袋にたくさんどんぐりを詰め込んでいきます。ちょうど落ち始めの頃だったので、まだ緑色のどんぐりも大人気でした。

「**あ！あかちゃんどんぐりみ一つけた！**」「**ぼくのはラッキーどんぐり！**」「**わたしのは、でんせつのだんぐりよ！**」と嬉しそうに見せ合っている姿がとても可愛かったです。

そうそう！公園の帰りは行く時と違う道で帰ろうとしたところ、「**あれ？きたときどちがうよね**」と子どもたちが気付きました。「そうね、道は繋がっているからね」と保育者の言葉に「**そうやね〜ちきゅうはまるいしね〜**」とにこにこ笑顔の子どもたち。何気ないつぶやきがとても素敵と思った瞬間でした。

櫻井 真澄